

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	795 研究指定校支援事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	教職員
目的	指導法や教材の開発、教職員の資質の向上を図り、児童生徒の学力を向上させる。
概要 (取組内容)	市教育局で教育研究のモデル校を指定し、指導法や教材の研究開発に対し指導・助言をする。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,240	1,240	1,240	
	決算額	(千円)	1,795	1,010	620	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,795	1,010	620	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,362	5,168	5,178	5,178	5,178	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	研究校（学園）の指定数（校）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市教育局で教育研究の指定モデル校を指定し、指導・助言する。						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	研究発表会に参加できる教員の数が多かったため、今年度はオンラインで発表会を行なった。	
成果	オンラインで発表会を行ったことで、市内全教職員が参加することができた。研究指定の2年間をとおして、本市教育大綱キーワードである「教えから学びへ」の方向性を示すことができた。	
課題	業務	新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時休校があったため、来年度発表校を1年延期した。
	組織、予算等	特になし
改善目標	令和3年度、発表校がないので、令和4年度の発表に向けて、2年間かけて市の方針を反映させた発表会となるよう、指導助言を行っていく。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	796 教職員の各種研修事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	教職員
目的	教職員の資質及び指導力の向上を図り、児童生徒の学力向上を目指す。
概要 (取組内容)	発表会を開催 市教育委員会主催の各種研修講座に講師を招き、視察研修を実施

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	130	130	130	
	決算額	(千円)	177	18	86	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-396	18	86	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	573	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,942	2,842	2,167	2,167	2,167	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.35	0.35	0.25	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	190.00	190.00	190.00	190.00	190.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	教職員の各種研修への参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,200.0	1,200.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,264.0	1,200.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症対策のためもあり、オンラインやオンデマンドでの研修を増やし、教職員の移動を減らしたことで、負担軽減をした。	
成果	向上すべき教職員の資質能力を重点化し、講座数を削減することができた。 オンライン、オンデマンド研修を取り入れ、効率のよい研修方法を開発した。	
課題	業務	新学習指導要領やつくば市の教育方針具現化のための、効果的な研修講座の開発
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き教職員の働き方改革と資質能力の向上をバランスよく推進していく。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	798 学びの広場サポート事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（間接）	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学するもの、児童・生徒
目的	教職員の資質の向上を図る。
概要 (取組内容)	市内全小学校及び義務教育学校の4、5年生並びに中学校及び義務教育学校の7、8年生を対象として「学びの広場サポーター」を夏季休業期間中を中心に派遣し、学習を支援する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	2,302	0	0	
	決算額	(千円)	3,253	1,939	151	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,085	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,168	0	151	0	0
		その他	(千円)	0	1,939	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,909	1,850	1,852	1,852	1,852	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	実施学校数 ( 校 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	45.0	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	45.0	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各校における学習サポーター活用の希望に可能な限り沿うよう、事業の計画や学校の担当者との連絡調整をまめに行った。また、茨城県の方針に沿い、学習サポーターを活用できる期間を当初の夏季休業期間とし、通常授業においても活用できるようにした。	
成果	市内全45校で事業を実施することができた。学習サポーターを活用した3小学校では、「算数の学習が楽しい」、「計算の力が身に付いた」と答えた児童が増加した。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のための休校に伴い、夏季休業期間が短縮されたことを受け、学習サポーターの活用を断念せざるを得ない学校が多かった。	
課題	業務	学習サポーターの活用について、当初の予定を変更した学校が多く、事前連絡なしに予定を変更した学校があったため、指導した。
	組織、予算等	障害保険料の予算に限りがあり、学習サポーターを活用できる期間が夏季休業期間に限定された。
改善目標	茨城県の「学びの広場サポートプラン事業」は令和2年度で終了する予定である。各学校で補充学習の機会や方法について検討し、実施する。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
優先度	-	今年度で事業が終了する。

### 方向性

方向性	廃止
理由	茨城県教育委員会からの受託事業であり、令和3年度から本事業が廃止となるため。

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	799 学習指導助言事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	教職員
目的	教職員の資質の向上を図る。
概要 (取組内容)	各学園学校の実態と発達段階に応じ、各教科領域の指導目標を達成するために効果的な指導方法について共に考え、適切に助言する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,405	10,914	10,937	10,937	10,937	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	330.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各種訪問指導の日程調整の難しさには、管理的な学校訪問を管轄している学校教育審議監との連携を密に行うことで、スムーズな日程調整を実現した。	
成果	新型コロナウイルス感染拡大予防のための臨時休校があったため、計画指導訪問実施時期が例年とは異なり、9月から12月の実施となったが、分科会の持ち方の工夫で、つくば市教育大綱の理念実現のための授業改善を図ることができた。	
課題	業務	訪問準備への時間的な課題がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	年間計画を立案し、計画的に効率よく訪問指導できるようにする。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	800 学校教育指導方針の作成事務					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	市教職員
目的	つくば市の教育方針について、市の教職員や視察者に示す。
概要 (取組内容)	学校教育指導方針を作成する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	220	220	220	
	決算額	(千円)	130	161	166	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	130	161	166	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,753	3,614	2,261	2,261	2,261	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	学校教育指導方針の作成部数 ( 冊 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,500.0	1,500.0	1,500.0	0.0	0.0	0.0
	実績	2,000.0	2,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	指導方針を作成することで、教職員及び視察来庁者に、つくば市の教育を周知することができた。	
課題	業務	つくば市教育大綱策定に合わせた内容のリニューアルを行う必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	つくば市教育大綱の策定を受けて、令和3年度版は内容をリニューアルする。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続	
理由	-	

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	801 研究奨励助成事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

## 事業の概要

対象	学校
目的	主体的で先進的な取り組みの学校を助成することで、市内学校の教育力の向上を図る。
概要 (取組内容)	自主的・組織的に研究に取り組もうとする学校に研究奨励費を助成し、研究の支援を行う。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	615	615	615	
	決算額	(千円)	565	488	595	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	565	488	595	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,487	1,431	754	754	754	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	奨励校数 ( 校 )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	秀峰筑波義務教育学校、前野小学校、竹園東小学校、東小学校、谷田部東中学校の5校に研究奨励費を助成した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続	
理由	-	

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	802 小中一貫教育推進事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	児童・生徒
目的	子供の成長の連続性の保証を実現する。
概要 (取組内容)	効果的な経営・運営方法や学習・生徒指導等について、適切に助言する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	186	186	186	
	決算額	(千円)	328	175	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	328	175	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,074	13,558	13,587	13,587	13,587	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
		正職員時間外勤務	(時間)	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新学習指導要領施行にともない、計画指導訪問の中で評価に関して考え方の方向性を示した。研究指定校の発表会に多くの教職員が参加できるようオンライン開催を行なった。	
成果	吾妻学園、高山学園の2学園が2年の研究指定の成果を発表した。発問を核とした学習活動の工夫を通して「教え」から「学び」の実現に向けた児童生徒をつなぐ指導の在り方を究明した吾妻学園、UDの視点を取り入れた授業づくりをとおして学ぶ意欲を高め自己有用感を育んだ高山学園、と学園それぞれの特色を生かした小中一貫教育の成果を発表した。	
課題	業務	新学習指導要領小学校、中学校施行に伴う育成すべき資質・能力の系統性の見直しなど。
	組織、予算等	特になし
改善目標	各指導訪問をとおして、新学習指導要領の考え方の浸透を図る。つくばスタイル科ワーキンググループを編成し、系統性の見直しを行う。	

### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	803 弁護士によるいじめ防止授業実施事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制		
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	児童・生徒
目的	いじめを起ささない学校づくりに資する。
概要 (取組内容)	法の専門家である弁護士から、専門的視点で助言を受けるとともに、チームティーチング形式でいじめの防止対策のための授業を行う。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	480	480	480	
	決算額	(千円)	0	480	480	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	480	480	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	74	74	74	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	いじめ防止授業実施数 ( コマ )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	40.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	弁護士によるチームティーチング形式のいじめ防止対策授業						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	学校関係者と弁護士の打ち合わせの時間が十分に確保するのが難しかったため、7月には学校へ周知し、打ち合わせの時間を確保した。	
成果	弁護士という立場から、いじめについて話をしてもらうことで説得力があった。 具体的な事例を知ることで、改めていじめが許されない行為であることを確認できた。 Zoomを活用することで、多くの学級で講義を視聴することができた。	
課題	業務	事業のスタート時期を早めることで、打合せのやりとりができる時間を確保したい。 全校で実施することができないため、オンライン等を活用して多くの学校で授業実施を目指す。
	組織、予算等	いじめ防止事業講師謝礼 480千円
改善目標	事業のスタート時期を早める事で、打合せのやりとりができる時間を確保する。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	804 学校生活総合質問調査委託事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制		
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	児童・生徒
目的	学校生活アンケート及び各学校調査において、支援を必要とする児童生徒の状況を把握する。
概要 (取組内容)	市内各学校の小学4、5、6、中学1、2、3年生対象の紙面質問方式による学校生活状況や意識調査を包括的に調査・分析を実施する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	5,637	5,637	5,637	
	決算額	(千円)	0	3,383	4,953	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	3,383	4,953	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	37	37	37	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	学校生活アンケート実施児童生徒数 ( 人 )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	13,643.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市内各学校4年生～9年生対象の学校生活等のアンケートを実施する。					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度から4年生から9年生まで調査対象を拡大した。	
成果	児童一人一人の実態把握に役立てるとともに、面談等で保護者とも共有できた。今後の生徒指導に活用が期待できる。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	811 学校図書館司書教諭補助員配置事業					
予算科目	01-100202-18			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	児童・生徒、配置する補助員
目的	児童生徒の学校図書館利用や読書活動の活発化を図る。
概要 (取組内容)	学校図書館司書教諭補助員の主な業務として整理、照会、貸出し等、司書教諭の補助 司書教諭は、学級担任や教科担当と兼務であるため、司書教諭補助員を配置し、児童の読書環境を整えていく。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	143	143	143	
	決算額	(千円)	22,607	33	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	22,607	33	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,134	1,092	1,094	1,094	1,094	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	学校図書館司書教諭補助員配置数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	49.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	33.0	49.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年度より小学校、中学校ともに司書教諭補助員として配置する。より専門性を高めることで、学校図書館の活性化につなげていく。	
成果	市内小中学校、義務教育学校に図書館司書教諭補助員を1名ずつ配置した。(勤務日は児童数に応じて週3日から5日。義務教育学校には2名配置。) 各学校の司書教諭の補助として、学校図書館の運営に当たり、児童の読書環境を整え、学校図書館の活性化を図ることができた。	
課題	業務	司書教諭補助員の研修の充実。
	組織、予算等	特になし
改善目標	新学習指導要領施行にともなう、選書や本の廃棄を引き続け計画的に進め、情報センターとしての機能を高めていく。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	812 理科支援員等配置事業					
予算科目	01-100202-19			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	児童・生徒、配置する支援員
目的	小学校及び義務教育学校理科教育の活性化及び一層の充実を図るとともに、小学校及び義務教育学校教員の理科指導力の向上を図る。
概要 (取組内容)	研究者や教員のOBなど理科が得意な人材（理科支援員）を小学校及び義務教育学校に派遣（5、6年生における理科授業の観察・実験等の準備、実施支援、後片付け等の支援を行う。） 1学級につき35時間、147学級（小学校29校と義務教育学校4校の理科支援員延べ37人）で実施

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	6,425	6,425	6,425	
	決算額	(千円)	6,371	5,845	2,500	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,371	5,845	2,500	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,134	1,092	1,094	1,094	1,094	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	理科支援員配置数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
	実績	33.0	33.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	学校訪問を行い、理科支援員のサポートの様子や支援に対する助言を実施。	
成果	観察・実験の準備や理科室や理科準備室の環境整備が充実した。教員と支援員が協力して理科授業や理科実験を行うことで、教員の指導力の向上が図れた。複数体制で授業を行うことで、実験事故の未然防止や安全に実験を行うことができた。	
課題	業務	理科支援の情報交換の場の設定と理科支援対象の研修を実施することでさらに支援の質の工場を図る。
	組織、予算等	週当たりの勤務日を2日から3日になるような予算措置
改善目標	理科支援対象の研修会や訪問指導による指導助言	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続	
理由	-	

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	813 派遣指導主事の配置事業					
予算科目	01-100102-16			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	教職員
目的	市の学校教育における諸問題の調査・研究、教職員の研修、教育情報の収集や学校・地域への発信、教育相談、各学校や園への指導・助言を組織的に推進し、市の学校教育の一層の充実と振興を図る。
概要 (取組内容)	教育指導課に派遣指導主事(総研・教育相談センター含)を配置し、学校運営の指導や各教科の指導・研究及び科学教育事業等を行う。 いじめや不登校など学校生活への不適応や人間関係に苦しむ児童生徒・保護者の相談に対応する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	90,543	90,543	90,543	
	決算額	(千円)	97,208	93,412	84,900	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	97,208	93,412	84,900	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	756	729	730	730	730	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	学校訪問回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	150.0	150.0	150.0	0.0	0.0	0.0
	実績	163.0	153.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	計画指導訪問（市内全51校）、要請訪問（研究指定校3校）、小中一貫指導訪問（全15学園）、特別支援指導訪問、生徒指導訪問、学力向上推進訪問等の訪問回数						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	9月から12月に計画指導訪問（市内全45小中義務教育学校、全16幼稚園）を実施。市研究指定校5校を訪問し、発表会に向けた指導、生徒指導訪問、特別支援指導訪問等を実施。これらの訪問指導を通して、教職員の資質向上を図ることができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	継続して学校、幼稚園に訪問指導することを通して、教職員の資質向上と市の教育大綱の考え方の浸透を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	814 学校教育指導員の配置事業					
予算科目	01-100102-27			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	市立幼稚園、小・中学校、義務教育学校指導員
目的	学校教育指導員を配置し、学校教育及び幼稚園教育の充実及び進行を図る。
概要 (取組内容)	教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイス等ができるように、専門的な知識をもつ「学校指導員」を任用する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	4,065	3,966	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,065	3,966	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	756	729	730	730	730	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	学校・幼稚園訪問回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	61.0	61.0	61.0	0.0	0.0	0.0
	実績	72.0	300.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度課題特になし	
成果	学校及び幼稚園訪問を実施し、教員の学校運営に関する相談や保護者対応等、的確にアドバイスを行った。 4月から3月で学校教育指導員2人で320回の訪問を実施した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続	
理由	-	

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	861 つくばスタイル科の振興						担当部課	教育局学び推進課
予算科目	-	-					係名	教育指導係
市長公約								
戦略プラン	II-6	1	1	つくばスタイル科による環境教育			新規・継続	新規
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画	特になし						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	04質の高い教育をみんなに

## 事業の概要

対象	市内小中学校等の児童・生徒
目的	つくばの未来を担い、国際社会で活躍できる人材を育成する。
概要 (取組内容)	「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全・防災」の4単元を9年間の系統性を図りつつ、つくば次世代型スキルを身につける。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	1,020	1,020	1,020	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	SDGsシール各学校参加率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	0.0	82.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	環境問題など課題解決を提案するSDGsシール各学校参加率						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	つくばスタイル科環境単元を通して、SDGsの観点から持続可能な環境問題について考え、発信することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	ワーキンググループでの話し合いを通じて、単元プランのブラッシュアップを図っていく。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	721 幼保小連携教育推進事業							
予算科目	-	-					担当部課	教育局学び推進課
市長公約							係名	教育指導係
戦略プラン	Ⅲ-2	1	1	主体的・協働的な学びの推進			新規・継続	継続
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
個別計画	特になし						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	04質の高い教育をみんなに

## 事業の概要

対象	幼児、教員
目的	幼稚園児及び保育所児童の発達や学び、育ちを就学後につなぐ。 幼保小各施設間の問題解決や接続期の教育の充実を図る。
概要 (取組内容)	幼稚園児、保育園児及び小学生の交流事業。 教師間の合同研究会の開催。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	1,020	1,020	1,020	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	学園内における教師間の研修や、保育参観・授業参観を通じた幼保小連携を推進することができた。保育施設におけるアプローチ・カリキュラムや小学校におけるスタート・カリキュラムを作成し、保育・教育内容における接続を推進した。市指定研究発表園の取り組みを、市内保育施設・小学校間で共有した。	
課題	業務	相互保育参観や授業参観を通じた幼児・児童間の交流の促進。
	組織、予算等	特になし
改善目標	幼児・児童の交流や合同教員研修の促進。 アプローチ・カリキュラムやスタート・カリキュラムの改善。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	797 つくば市サイエンスキッズリーグ事業					
予算科目	01-100102-22			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	教育指導係	
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	04質の高い教育をみんなに

## 事業の概要

対象	児童・生徒
目的	児童生徒の理科教育・科学教育への興味関心を高め、国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加し活躍できる人材を育成する。
概要 (取組内容)	科学について市内児童生徒5～8年生が1チーム3人のチーム戦で筆記による科学についての共通課題へ取り組み、決勝リーグで実験実技の競技（サイエンスキッズリーグ）を開催する。 児童生徒の理科教育・科学教育への興味・関心を高め、「科学の甲子園」や国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加する。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	389	389	389	
	決算額	(千円)	395	316	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	395	316	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,367	2,282	2,286	2,286	2,286	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	サイエンスキッズリーグへの参加校数 ( 校 )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	36.0	36.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-①個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出) サイエンスキッズリーグに参加する学校数						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。	
成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	
課題	業務	コロナ禍で感染予防を講じた実施について。
	組織、予算等	特になし
改善目標	3分の1に縮小して実施する。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	793 協働的な遊びや様々な体験の充実						担当部課	教育局学び推進課
予算科目	-						係名	教育指導係
市長公約							事業分類	新規
戦略プラン	Ⅲ-2	3	1	協働的な遊びや様々な体験の充実			新規・継続	新規
	Ⅲ-2	3	2	幼保小連携の推進			事業分類	自治事務（任意）
個別計画	特になし						事業体制	職員のみ
	特になし						事業期間	毎年度
根拠法令等							特になし	

## 事業の概要

対象	幼稚園教諭、教職員
目的	子どもたちの資質・能力や非認知能力を育むための研修を通して、保育士の指導力や専門性を高める。保幼小接続カリキュラムを通して保幼小の円滑な接続や連携の充実を図る。
概要 (取組内容)	こどもの非認知能力を向上させる研修を実施し「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した保育法について知見を深める。 保幼小の交流を計画的に実施し異年齢との関わりを通して様々な体験活動の充実を図る。 アプローチ、スタートカリキュラムを通して円滑な保幼小の接続や保幼小の情報交換の充実を図る。

## コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	990	0	0	
	決算額	(千円) 0	0	911	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	0	911	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 0	0	1,020	1,020	1,020	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	0.00	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	非認知能力を向上させるための研修を受けた幼稚園教諭の数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16.0	16.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	実績	16.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし
成果	計画指導訪問時の指導を通して、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や非認知能力の育成を推進した。保育施設・学校間での幼児・児童の交流が困難であったため、同一施設内での異年齢交流の工夫や、環境構成の工夫を通して協働的な遊びや様々な体験の充実を図った。
課題	業務 保育施設・学校間における幼児・児童間の交流の実施。 教員間の相互授業参観や研究協議の実施。
	組織、予算等 特になし
改善目標	非認知能力の育成を目指した研究・研修の推進。 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の具体的イメージの共有と見取り。

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	805 国際理解教育推進事業					
予算科目	01-100102-23			担当部課	教育局学び推進課	
市長公約				係名	学校・地域連携係	
戦略プラン	Ⅲ-3	1	2	国際理解講座や文化交流事業の開催	新規・継続	継続
	Ⅲ-3	1	3	日本語支援体制の充実	事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	日本語指導・国際理解集会				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	04質の高い教育をみんなに

## 事業の概要

対象	児童・生徒、ボランティア市民
目的	異なる文化や考え方を尊重する態度を育む。
概要 (取組内容)	日本語指導においては、日本語の理解が十分でない児童生徒が学習や生活に支障がなく適応できるようにするための支援が必要である。 また、国際理解集会については、児童生徒の多文化理解を促進するために、各学校または学園単位で国際理解集会等を実施し、外国の文化や考え方に体験的に触れる機会を設けている。

## コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	2,369	2,369	2,369	
	決算額	(千円)	2,248	1,976	2,503	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,248	1,976	2,503	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,570	2,473	2,479	2,479	2,479	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		正職員時間外勤務	(時間)	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	国際理解集会実施校数 ( 校 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	33.0	33.0	0.0	0.0	0.0
	実績	33.0	31.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 小学校及び義務教育学校(前期)で実施する。						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	日本語指導ボランティアについては、筑波大学やつくば市国際交流協会、県事業と連携し、人材確保に努めた。国際理解集会の講師の依頼先候補について、年度初めに各校に周知した。集会の内容については、昨年度の実施報告をウェブで共有した。	
成果	日本語指導ボランティアについては、他機関との連携により、ボランティア人材を確保し、児童生徒の学習面や生活面での適応を支援することができた。国際理解集会については、従来の規模や形態での実施が困難だったが、オンラインを活用したりすることで、33校中31校が実施できた。集会を通して、児童の他文化への興味関心を高めることができた。	
課題	業務	日本語支援が必要な児童生徒に対するさらなる支援の充実とボランティア人材の確保
	組織、予算等	日本語支援が必要な児童生徒への支援を充実させるための予算措置
改善目標	今年度に引き続き、筑波大学やつくば市国際交流協会との連携を図り、ボランティア人材の確保に努める。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—